

廃棄物等受入管理システム構築業務業者選定評価基準表

分類	観点内容	評価ポイント			点数	重み	採点	小計
		NO	評価ポイント	具体的ポイント				
1 合目的性	仕様書記載内容を充足し、システム専門家以外でも理解できる提案書・プレゼンになっているか 仕様書記載内容以外の業務提案など、積極的なものになっているか	1-1	機能要件・非機能要件への充足	機能要件、非機能要件への回答が適切なものになっているか アドオン・カスタマイズ率が適切か	5	2	10	50
		1-2	入力ミス防止	入力ミスを防ぐ仕組みになっているか	5	2	10	
		1-3	使いやすさ	画面が見やすいものになっているか 日常業務に支障のない範囲で使えるか	5	1	5	
		1-4	マスタの変更の簡便さ	将来想定される変化(料金改定など)に柔軟に対応できそうか	5	1	5	
		1-5	ニューノーマルへの対応	テレワークなどに対応できそうか	5	1	5	
		1-6	業務負荷軽減	業務の効率化につながる機能を具備しているか	5	2	10	
		1-7	積極的な提案	仕様書の内容を読み取り、積極的な提案があるか	5	1	5	
2 開発実行性	提案内容を実行する体制・責任者・人員数、スケジュールは実現可能なものか 過去に同業種・同規模の開発実績があるか	2-1	体制	システム導入時および保守運用時のプロジェクト体制において、指揮命令系統が明確に記載されているか	5	1	5	50
		2-2	各フェーズ期間の実現可能性	導入スケジュールにおいて、作業内容に対し、各フェーズの期間が充分に取られており、当会社が遂行可能と判断できるか	5	2	10	
		2-3	教育の充実	システムリリース時に、ユーザー教育が充実しているか	5	2	10	
		2-4	システムの提案範囲	システムの提案範囲が曖昧でないか(特にオプション提案部分において、既存システム利用か、システム入替かが明確であるか)	5	1	5	
		2-5	メンバーのパッケージ経験	システム導入プロジェクトメンバーが、導入パッケージ経験があるか	5	1	5	
		2-6	メンバーの業務プロセス理解度	システム導入プロジェクトメンバーが、業務プロセスの知識を有しているか	5	2	10	
		2-7	意思決定スキームの明確化	会議体、リスク管理、変更管理、品質管理等、各種プロジェクト管理において、意思決定スキームが明示されているか	5	1	5	
3 保守安定性	保守・運用フェーズにスムーズに移行できるか 保守・運用において、柔軟に保守を実行してもらえるか	3-1	開発から運用保守への移行	開発体制から運用保守体制への移行について、連携がスムーズに行われるようにメンバーの連携などが行われていることなどが記載されているか	5	2	10	50
		3-2	保守サービス内容の充実	保守サービス内容が明確であるか(保守サービスの基本対象、追加対象が明示されているか)	5	2	10	
		3-3	改修コストの安定	改修段階でも開発メンバーが関与するなど、運用段階での改修時の費用が開発段階より、著しく高くない体制が期待できるか	5	2	10	
		3-4	SLA(サービスレベル)	SLAの項目として、サービス時間、可用性、信頼性、サポート、性能基準、セキュリティ等の指標による管理がなされるか	5	2	10	
		3-5	属人性を排した体制	プロジェクトが特定人物への依存しており、導入後に開発担当者が変更になったとしても、当初の想定通りのサポート体制が継続可能であるか	5	2	10	
4 価格適正性	導入費用は提案内容・他社と比較して、高いことはないか 保守費用が導入費用と比較して、バランスが悪い点はないか	4-1	パッケージ導入費用と開発費用	パッケージ費用と開発費用は明細単位に記載され、高額でないか(点数は、最低の提案価格/当該提案者の提案価格×5を基本、予算超過は0)	5	2	10	25
		4-2	ハードウェア・ソフトウェア	推奨するハードウェア・ソフトウェアが、著しくスペックが高かったり、低かったりすることはないか	5	1	5	
		4-3	要件定義フェーズ費用	要件定義フェーズの工数がタスクごとに明示されていて、スケジュールの遅延などにより、増額になることはないか	5	1	5	
		4-4	保守費用	保守費用の明細が明示されているか、業界標準単価と比較し、過度に高い/安い金額でないか	5	1	5	
5 ベンダーパートナーシップ	経営状況は問題ないか プロジェクトマネージャーは説明がわかりやすく、質問対応力があり、信頼できるか	5-1	会社規模	倒産リスクがないか(システムベンダーとしての業界地位があり、経営状況が著しく悪化し難い会社であるか)	5	1	5	25
		5-2	プロジェクトマネージャーの評価	プロジェクトマネージャー ・わかりやすいプレゼンテーションであったか ・質疑応答に対し、的確な回答をされていたか	5	1	5	
		5-3	開発・導入実績	ベンダーはシステム(パッケージ)の導入実績が豊富にあるか また、同業種、同規模の会社への導入実績があるか	5	2	10	
		5-4	契約条件	契約条項、前提条件、除外条件が適切であるか(前提条件・除外条件が過度に多い、または少ないことはないか)	5	1	5	
評定点合計(200点満点)							200	

○評価方法 次の基準により各項目の点数5～1を付ける。点数に重み付けを乗じた採点を合計する。
 5点:特に優れている 4点:優れている 3点:普通である、2点:少し問題がある 1点:問題がある
 ○選定委員会の全員委員による配点の合計が、満点(200点)の6割(120点)に満たない提案は、選定しない。